

## 松谷会長記者会見の概要

日 時：令和3年4月13日（火）15時00分～15時25分

場 所：(オンライン記者会見)

記者：

MRFは72億円の資金流出となっており、これは8ヵ月ぶりの資金流出である。3月のタイミングで待機資金であるMRFから資金が流出し、ETFを除く公募株式投信に資金が流入している要因は何か。

松谷会長：

待機資金となっていたMRFが3月になって一気に株式投信へ流れ込んだというのは、資金流出の規模からしても、ニュアンスが違うと思う。MRFから公募株式投信の買い付け代金に充てられた一方で、一定程度の利益を確保するために投信を売却した資金がMRFへ流入したのものもあるだろう。

記者：

海外株式型投信に継続的に資金流入が続いているが、今年度も資金流入が続くと思うか。その見通し等を伺いたい。

松谷会長

海外株式型に資金が流入するトレンドは続くだろうとは考えている。ただし、3月25日の会見で2020年度の「投資信託に関するアンケート調査」について報告した際にも申し上げたが、パフォーマンスが良いから海外株式型投信に投資するといった論調でメディア等に取り上げられるのは必ずしも好ましいものではない。やはり、国際分散投資という観点で長期の資産形成をしていただくことが大切であり、その中で、一定程度を海外株式等の海外リスク資産に資金を配分することが望ましいと考えている。ご自身の年齢やリスク許容度等に応じて、長期での資産形成を継続してもらいたい。

以 上